

ふるさとを大切に思う心が 世界に羽ばたく人材をつくる

「生まれ育った町を大切に
思う心をはぐくむことが、自
分の誇りを持つことにつなが
ります。本町の素晴らしい自
然・文化を生かした教育で、
グローバルな視野を持つ人材
を育てたいです」と語るのは、



蔵田 勇治さん
Kurata Yuji

くらた ゆうじ / 町教育委員
会教育長。平成24年度に甲
佐高校の校長に就任し、地域
に根ざした学校づくりを目指
した。4月から現職に就任。

4月に町教育長に就任した蔵
田勇治さん。

体育教諭として教鞭を執り
ながら陸上競技の国体選手と
しても活躍した蔵田さんは、
熊本県高等学校体育連盟理事
長や県教育委員会などを経て、

平成24年度に甲佐高校の校長
に就任。緑川の清掃活動やあ
ゆまつりなどへの生徒の参加
を通して、甲佐高と地域との
つながりを作り、より愛され
る学校づくりを目指した。

蔵田さんは、「本町には、
自然や数多くの史跡があり、
それらを大切に守る住民の皆
さんがいます。子どもたちに
甲佐の魅力を知る機会をもつ
と与え、郷土愛をはぐくむこ

とで、子どもたち自身が自分
をもっと好きになることがで
きます」と、地域の魅力を生
かした教育の実践を描く。

「吉田松陰の名言に『夢な
き者に理想なし、理想なき者
に計画なし、計画なき者に実
行なし、実行なき者に成功な
し。故に、夢なき者に成功な
し』とあります。教育におい
ても大切なことは、子どもた
ちに夢を持たせることです」
と蔵田さん。「小さな目標を
1つずつ達成することで夢は
必ず叶うこと、そして自分の
夢に対する誇りや生きがいを
持つことで自尊心が芽生え、
思いやりのある心を持つこと
ができ、広い視野で世界に羽
ばたける人になります」と子
どもたちの将来を思う。

自身の教員時代を思い返し
「教育は、1回限りの真剣勝
負。子どもたち1人1人と向
き合い、夢を伝えることを大
切にしたいです」と蔵田さん。
「本町ならではの社会教育・
文化教育すべての分野に取り
組み、郷土を愛する子どもた
ちの心をはぐくみたいですね」
と新たな夢へと駆け上がる。